

【 議事録 】

会 議 名	学校評議員会（会議室）
日 時	平成26年3月18日（火） 16時00分 ～ 17時00分
協議内容等	
<p>1 学校長あいさつ</p> <p>2 学校評議員会委員の紹介 栗原優子評議員，佐野周次評議員，岡本武由評議員，柴田校長，名山教頭 羽山事務室長，佐々木指導教諭，宮本教諭，徳永教諭 計9名出席 ※ 欠席の西條評議員からは書面で意見を頂いている。</p> <p>3 議事（以下，敬称略）</p> <p>（1）平成25年度 学校評価について 学校から4つの重点課題における評価指標と実施状況について説明し，それぞれの項目について評議員から意見・質問を頂いた。（A4・A3の会議資料参考）</p> <p>①人権教育の推進について</p> <p>名 山） 2名の生徒が南部ブロックの中・高生による人権交流事業に参加し，他の高校の意見を聞いてきました。</p> <p>佐 野） この学校の先生方が怒ったのを見たことがないです。</p> <p>栗 原） さん付け呼名について他の特別支援学校の実態はどうですか。</p> <p>宮 本） これまで，私の勤務した特別支援学校では，生徒は呼び捨てであったり，「～ちゃん」という呼び方をしていることもありました。</p> <p>佐々木） 年齢相応の呼び方が適切という捉え方です。企業からは，いつでもさん付けでは呼べない場合があると言われていました。</p> <p>栗 原） 人間関係の距離感が大事なのだと思います。生徒がさん付けで変わったことはありますか。例えば自尊感情などの点ではどうですか。</p> <p>宮 本） さん付け呼名を徹底することによって，生徒は自然に受け入れたようです。さん付けで呼ばれることで，自分を大切にしてくれているという意識から自信が芽生える生徒も見られます。</p> <p>柴 田） さん付け呼名によって，教員が生徒を青年として尊重し，視線を同じにして，真摯な態度で向き合うようになると考えています。</p>	

- 佐野) 他県の乳児院の例では、呼び捨てにすると虐待と言われたこともあります。
- 名山) 西條評議員から「友だちが不安定な状態でどう接していいか困っていたときに先生に相談すると、友だちへの理解が広がり安心することができた。これからも困った時に先生に相談できる関係を続けてほしい。」という意見を頂いています。
- 岡本) 生徒へのさん付け呼名はすばらしい取り組みだと思います。

②個別の指導計画の効果的な活用について

- 名山) 今年度は、自立活動の充実を図ることを目標として、内容表の作成に取り組んできました
- 栗原) 個別の指導計画の卒業後の活用はどうしていますか。
- 名山) 就労先の企業の方に、生徒の様子を理解してもらえと思っています。
- 佐野) 個別の指導計画の見直しはどうしていますか。
- 名山) 目標の達成状況によって、新しい目標を設定、継続したりしています。
- 名山) 学校では「気づきデータベース」を活用しています。生徒に関するエピソードなどをデータベースに入力し、他の教員も情報を共有できるようにしています。
- 佐野) ケース会議などで常に情報交換しているようですが、いつ実施しているのですか。
- 佐々木) 放課後や担任の空き時間を利用して話し合っています。
- 名山) 西條評議員から「担任以外の先生にも相談やアドバイスをいただけるので、保護者にとってはありがたいです。」という意見を頂いています。

③職業教育の充実について

- 栗原) 就業体験先の開拓は何件ぐらいですか。また、どのような職種ですか。
- 名山) ジョブサポーターを中心に500社以上の事業所を訪問しています。職種については、製造業、サービス業、病院・福祉関係施設、小売業、ホテル・飲食業、運輸業など多方面に渡っています。
- 栗原) 開拓の地域は、どこまで行っていますか。
- 佐々木) 吉野川市、阿波市から海陽町まで、生徒が自宅から通勤できる範囲を想定しています。
- 栗原) 就職先の開拓も学校の業務になるのですか。
- 佐々木) 高等学校と違って、支援学校には企業から求人票が来ることはありませんので、学校が開拓しています。開拓先が本校の生徒に適した職場でなければ、適した生徒がいる他の支援学校に求人を譲ることもあります。
- 柴田) ジョブサポーターのおかげで、企業主が学校に足を運んでくださり、生徒の様子や授業を見学して頂いたこともあります。

栗原) 生徒の変化, 成長が著しいと思います。販売実習で2年生が1年生を教えているところを見て, 成長を感じました。

名山) 西條評議員から「学校卒業後に福祉関係機関とスムーズに関係づくりができるよう, いつ相談すればよいのかなど, 研修できる時間を作ってほしい。」という意見を頂いています。

④センター的機能の充実

名山) 巡回相談員を3名指名して, 地域の小, 中, 高等学校に相談に出向いています。本校は, 他の特別支援学校と比べると, 高等学校からの依頼が多いと思います。

栗原) 高等学校からの相談が多いようですが, 16回の研修会講師のうち何回くらいが高等学校ですか。

名山) 半分程度が高等学校です。

佐野) 今年度は, 生徒さんのボランティアを受けてお世話になりました。乳児院の子どもと生徒さんとの関わりが増えたり, 施設を借りられて助かりました。

岡本) ひのみね祭の時には, ボランティアで参加してくれた生徒さんが, 模擬店の販売の戦力になりました。

名山) 模擬店の販売では, 生徒も達成感を感じていたようです。生徒にとっても, よい経験をさせてもらいました。

栗原) 就労支援体験のフリーアクティビティでは, 参加人数は5名でしたがよい経験になったと思います。(発達障がい者総合支援)センター以外の方とふれあうよい経験ができました。来年度もお願いします。

佐野) 担当の先生が替わっても, 今のような関係を続けて欲しいです。

(2) 本校の教育活動に対する御意見, 御要望について
特に意見はなし。

(3) その他
特に意見はなし。

以上